



大門小だより

2月号

大門大好き いい仲間 進んで学ぼう 元気な子

令和3年1月28日
横浜市立大門小学校



急激な変化にも

副校長 佐々木 一高

1月20日の大寒を過ぎ、最低気温の記録が聞かれる時季でもありますが、日照時間は少しずつ長くなっています。学校では、次年度へ向けての教育活動の見つめ直しを計画的に実施しているところです。

新型コロナウイルスによる世界の混乱が起きて1年が過ぎます。徐々に移行し普及していたこれまでの社会変化とは異なり、これほどまでに大きく急激な社会全体の仕組みの変化、そして私たち自身の生き方や価値観の見つめ直しを迫られたことはたいへん印象的であり複雑な思いです。オリンピックやパラリンピック、成人式、地域行事、卒業式、運動会、旅行、飲食、働き方、教育活動……。これまでのあらゆる当たり前が当たり前でないことに気付かされた1年でもありました。

2010年から5年間、南米の小国ウルグアイの第40代元大統領を務めたホセ・ムヒカは言いました。「人生で一番大切なことは、成功することじゃない。歩むことだ。転んでも立ち上がり、再び歩むんだ。」これは2012年にブラジル・リオデジャネイロで開かれた「国連持続可能な開発会議」での名スピーチです。菌に衣着せぬ物言いが話題になりました。さらに、人の命についてこう続けます。

「私たちは発展するためにこの世に生まれてきたのではありません。この惑星に、幸せになろうと思って生まれてきたのです。私たちが挑戦しなければならない壁は、とてつもなく巨大です。目の前にある危機は地球環境の危機ではなく、私たちの生き方の危機です。人間は、いまや自分たちが生きるためにつくった仕組みをうまく使いこなすことができず、むしろその仕組みによって危機に陥ったのです。水不足や環境の悪化が、いまある危機の原因ではないのです。本当の原因は、私たちがめざしてきた幸せの中身であるのです。見直さなくてはならないのは、私たち自身の生き方なのです。」

彼の言葉は10年ほど前のものですし、新型コロナウイルスによる世界の危機を想定したものではありません。しかし一方で、自分たちの生き方であったり、幸せの中身であったりを見つめ直す点においては今の状況にも共通するところがあるように感じます。

当たり前と思われていた学校教育も急激な変化をみせています。文部科学省が推進する「GIGAスクール構想」もそのうちの一つであり、12月末に各ご家庭にご協力をいただいたような状況がこれからも十分に想定されます。矢継ぎ早なご依頼にも多くの方にご対応いただけましたこと、お礼申し上げます。また、学校づくりアンケートにも多くのご意見、ご要望をいただき、ありがとうございました。

感染を抑えるニュージーランドの首相アーダーン氏が国民を「私のチーム」と呼びました。大門小が呼ぶ「私たちのチーム」は、児童、保護者、教職員、そして地域の皆様です。これまで同様、様々な形で大門小に力をお貸しいただきながら、一丸となってこの急激な変化に柔軟に対応したいと考えています。

「最も寒い日」からたった2週間で季節が変わり、2月3日には立春を迎えます。昨年植樹したばかりの神大曙（正門の桜）には硬く引き締まったつぼみを見つけることができます。「私たちのチーム」のご支援のありがたさに感謝の気持ちを持ち、しっかりと準備をして春を迎えたいと思います。



子どもたちの活動から 1月



休み明け朝会 1月6日(水)

冬休みが終わり、令和3年が始まりました。本校では三密を避けるため、朝会はテレビ放送で行っています。休み明けの朝会も、画面越しに校長先生と新年の挨拶を交わしました。12月の生活目標の振り返りや1月の生活目標の確認、そして、2年生の代表者が今年の抱負を述べました。新年の思いを、全校で高める機会となりました。



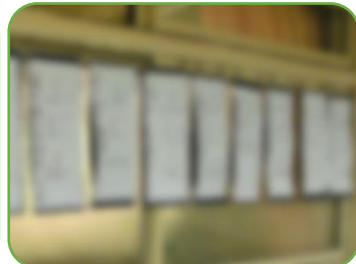
6年 ハマ弁体験 1月8日(金)

6年生が中学校のハマ弁を体験しました。令和3年度から始まる中学校給食(デリバリー型)の試食です。温かいまま届くよう工夫されたお弁当は、ごはん・おかず・汁物といった内容で、栄養バランスよくボリューム満点。春から始まる中学校生活への期待感が高まりました。



各学年 書き初め 1月7日(木)～

1・2年生は各教室で、3年生以上は体育館で書き初めをしました。今年は、感染症拡大防止の観点から、学級ごとに行いました。普段とは違う大きな紙に書くことに緊張しながらも集中して取り組み、みんな堂々とした作品を仕上げることができました。作品は廊下に掲示し、鑑賞しました。



1年 昔遊びの学習、個別級 たこ作り

1年生は、けん玉やおはじき、お正月遊びなど、冬の季節に合った遊びについて学習しました。友達と一緒に、楽しく遊ぶ姿が見られました。個別級では、地域の吉川様からたこの作り方を教わりました。自分たちが一生懸命作ったたこが空に向かって上がる様子を見て、子どもたちはうれしそうでした。いろいろな昔遊びを通して、地域の方との交流ができる日が待ち遠しいです。



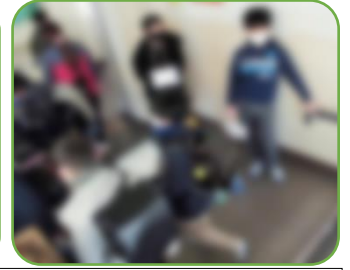
1・2年 手話を知ろう 1月14日(木)～

各クラスごとに映像を見たり、体験をしたりして学習しました。無音でテレビを観たり、手話クイズや手話を使って歌を歌ったりして、聴覚障害についての理解を深めました。多くの子どもたちが、楽しく手話を使って挨拶したり歌ったりして、手話に興味をもちました。また、聴覚障害があるとどんなことで困るのか、自分たちは聴覚障害のある人とどのように接したらよいか考えました。

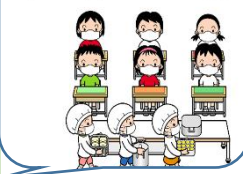


あいさつ週間 1月12日(火)～22日(金)

今年度2回目の「あいさつ週間」を行いました。前回の反省をもとにして、運営委員会が「こんな挨拶をしてほしい」という姿を動画で全校に放送しました。今後も明るく元気な声が学校中にあふれるように、挨拶の大切さを伝える取組を継続して行っていきます。



しずかに すわって まちましよう



給食週間 1月25日(月)～29日(金)

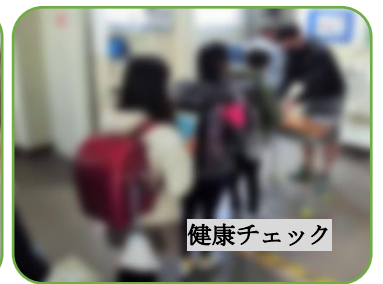
「全国学校給食週間」の時期に合わせて、行いました。本年度は、感染症拡大防止の観点から、交流給食や給食に親しむ取組は行いませんでした。給食委員会が作成した動画を見ながら、給食のマナーなどを確認しました。また、放送を通して、給食のはじまりや給食に関わる人について知る機会となりました。

健康・安全・安心のできる生活のために

緊急事態宣言を受けて、健康で安全に学校生活を送れるように、再度、生活の仕方について子どもたちと確認しました。日々の検温、消毒や手洗い、マスクの着用の徹底、ソーシャルディスタンスなどを意識した授業の工夫など行っていきます。これからも、健康・安全・安心な学校を目指します。ご家庭でも、引き続きご協力よろしくお願ひします。



登校時の整列



健康チェック

今月の「大門ふれあい農園」



3年生の児童は毎日、畑に顔を出し、水やりを続けています。収穫祭が終わっても、自分から進んで取り組む姿があります。



農園委員会と5年生のボランティアの子どもで、畑を耕して花壇を作っています。朝の厳しい寒さの中、みんなで鍬やシャベルを使って硬い土を一生懸命掘り起こしています。

児童支援専任から



来年度に向けて、新しい文房具、学用品を購入し始める頃かと思います。以下の点をご家庭で確認ください。

① 筆箱について

新しくご購入いただく際には「無地」の「箱形の筆箱」をご用意ください。

② 上履きの記名について

児童理解の観点から、右の図のように記名いただくよう、統一していきます。

名前は相手に向かってフルネームで書きます。



大門小学校の授業研究

本校では、「一人ひとりの子どもが意欲をもって、主体的に学習に取り組み、自ら学力を向上させていく力を養う」ことを目標に「楽しく分かる授業づくり」について研究を進めています。また、ESD推進校、人権教育実践推進校としても、取組を行っています。

重点研究 6月～1月

今年度も「人との関わりの中で、多様性を認め合い、自らを高め合う子の育成」をテーマに、授業研究やカリキュラムの作成を行っ



てきました。それぞれの学級で子ども一人ひとりが自分の思いを表現できるよう、手立てを工夫した授業が行われ、生き生きと学び合う様子が見られました。

